

地域公開研修会のご案内

HEALTHCARE CORPORATIONS KOUNOIKE-KAI CHIKI-CARE CENTER

ストレスと対処法を学ぼう

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は鴻池会地域ケアセンターにご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。

今私達の暮らしは経済的に豊かになり、より便利で快適な生活が実現しています。その一方で「ストレス社会」とも呼ばれている側面もあり、人々は多くのストレスを抱えています。ストレスは働く人だけでなく、子供から高齢者まで様々な影響を及ぼしています。今回はストレスとはどのようなものか、心と体にどのように影響を及ぼすのか、またストレスにどう対処すればいいのかを、医学的な面から専門医よりお話していただきます。

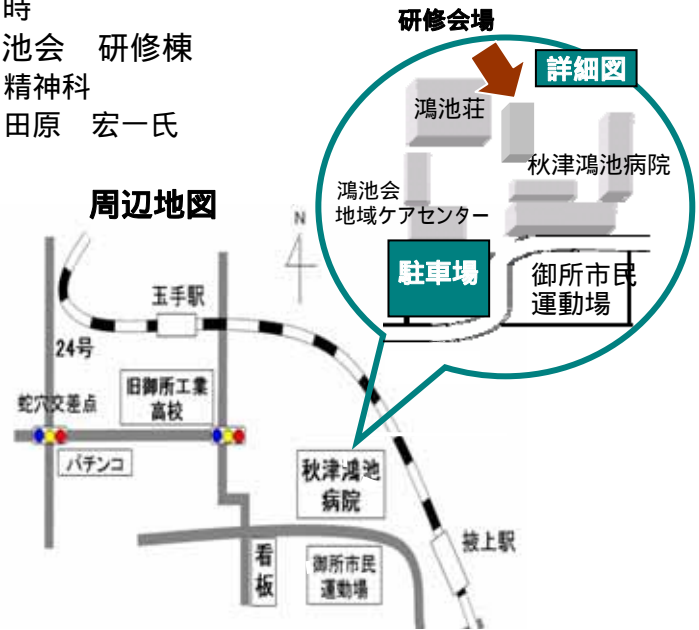
開催日：平成26年11月21日(金)

時間：18時～19時
場所：医療法人 鴻池会 研修棟
講師：秋津鴻池病院 精神科 医師 田原 宏一氏

ストレスがつくる心の病気

ストレスの要因や感じ方は様々で場合によってはストレスに気が付かず、体調不良や不眠などの症状となって現れることもあります。ストレスが及ぼす疲労を解決するには、自分なりの方法を見つける事が重要で、それにはまずストレスを知ることが必要です。今回は、高齢社会における在宅介護や施設介護の現場で、介護を行う側・受ける側のストレスなども合わせて学びたいと思います。

周辺地図



お知らせ 公開研修会開催時にパンフレットの設置を希望される事業所様はパンフレットをご持参下さい。

準備の都合上、参加予定の人数をご連絡頂ければ幸いです。 FAX 0745-64-2061

事業所名	参加予定人数
------	--------

送信用紙不要 この用紙だけでご返信下さい。



医療法人 鴻池会 地域ケアセンター
住所：〒639-2273 奈良県御所市池之内1064
TEL：0745-64-2062
FAX：0745-64-2061
URL：http://www.kounoikekai.com/

鴻池会地域ケアセンター10月公開研修会のご報告

「問題解決の糸口を見つける！！」

平成26年10月17日鴻池会研修棟において「問題解決の糸口を見つける！！」をテーマに、介護支援専門員 大西 南津子氏を講師に研修会を開催しました。



まず初めに私たち専門職はご利用者の望む自立した生活やQOLの向上を目指して支援を行う上で支援者側の主観や価値観、思い込みなどによる捉え違いをなくし、正しい情報を収集する必要があると説明がありました。

そこで、トリックアートを使って、第一印象や思い込みなどによって、同じモノを見て、同じ話を聞いても、それぞれ「事実を捉える視点と思考」が違う事を体験しました。ご利用者の思いに沿った支援を行なうためには、まず自分の思考の癖を知り「一方向からではなく多面的に捉える」「思い込みではなく事実を捉える」「柔軟な思考で捉える」ということが大切だと、改めて気づかせていただいた体験でした。

次にICFの考え方について、岡山プライマリーケア学会で作成された動画が紹介され、ICFは「生きることの全体を見る」という共通のものの見方・捉え方に働きかけるツールであるという説明がありました。その後、ICFの視点で情報を整理していくことで、ご利用者の望む自立した生活やQOLの向上を目指した支援の方法が見えてきた過程を実際の事例を使って伝えられました。私たちはご利用者の情報をたくさん捉えながらも、どうしても困まっていることやできないことに視点を置いて支援を行いがちになります。しかしICFの視点をもってその情報を整理するとご利用者が望む生活、またご家族の思いや不安などが見えてきます。そこでICFの「参加」に繋がる支援の方向が明らかとなってきます。その方向性が適切であるかについては、事例では専門家による評価に基づき環境因子に働きかけることで、ご利用者のQOLの向上に向けた支援に繋がる糸口となることを学びました。

最後に、ご利用者はそれぞれ心身機能や生活環境の違い、またご本人の望まれる生活にも個別性があるため、ご利用者の声に耳を傾けられているかと、いつも振り返りながら行っていかなければならないと締めくくられました。



今回の研修会では、ご利用者の思いに沿ったマネージメントを行なうためにはチーム全体がそれぞれの専門性を生かしてICFの視点で情報を捉え、ケアマネジャーが連携の要となってその情報をチーム全体で共有していくことの大切さを感じました。